

平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

くらし 4 : みんなで取り組む地球温暖化対策プログラム (主担当部局 : 環境森林部)

< プログラムの目標 >

県民、事業者などすべての主体が地球温暖化問題を重要な環境問題として認識し、それぞれが自主的に、また、多様な主体が連携して、効果的な温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

< 構成事業 (担当部局) >

- (1) 温暖化防止に向けた事業活動促進事業 (環境森林部)
- (2) 小規模事業所向け E M S 導入事業 (環境森林部)
- (3) エコライフ普及啓発推進事業 (環境森林部)
- (4) 地球にやさしい新エネルギー導入推進事業 (政策部)

< プログラムの事業費 >

(単位 : 千円)

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額 1	87,229	98,000	98,000	98,000
予算額等 2	67,750	88,548	56,791	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は当初予算額

< 構成事業の目標 > 20 年度実績は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 省 CO ₂ 取組事務所の数	目標値	-	293 事業所	507 事業所	567 事業所	647 事業所
	実績値	253 事業所	322 事業所	507 事業所		
(2) 小規模事業所向け環境マネジメントシステム導入事業所数	目標値	-	40 事業所	40 事業所	40 事業所	40 事業所
	実績値	35 事業所	33 事業所	40 事業所		
(3) 普及啓発を実施した対象人員の数	目標値	-	10,400 人	11,500 人	12,700 人	13,700 人
	実績値	9,156 人	11,869 人	11,500 人		
(4) 県全体の太陽光発電能力	目標値		29,000kW (H18 年度)	38,400kW (H19 年度)	49,100kW (H20 年度)	61,300kW (H21 年度)
	実績値	25,316kW (H17 年度)	30,757kW (H18 年度)	34,842kW (H19 年度)		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・三重県の温室効果ガスの排出量は 2005 年度 (平成 17 年度) で 1990 年度 (平成 2 年度) に比べて 9.4% 増加しており、今後、特段の対策を講じない場合には、今後も温室効果ガス排出量は増加する見込みとなっています。
- ・産業部門においては、大規模事業者を中心に、エネルギー原単位の削減等、省エネ対策が進められていますが、二酸化炭素排出量は増加傾向にあることから、さらなる対策が必要です。こ

のため、平成 20 年度から企業連携による CO₂ 削減対策に取り組んでおり、四日市市霞地区では、企業等が連携してエコ通勤をはじめとする取組を進めています。

また、中小事業者に対しては、三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム（M-E M S：ミームス）を導入することが CO₂ 排出量削減につながることから、今後一層の普及をはかる必要があります。

- ・一方、二酸化炭素排出量の増加傾向の著しい家庭部門においても、三重県地球温暖化防止活動推進センター等と連携した普及啓発活動により、県民の地球温暖化問題に対する関心は高まっていますが、自主的な地球温暖化防止の取組の広がりには至っていません。
- ・太陽光発電などの新エネルギーは、出力の不安定性や高コスト等の課題があることから、その導入をさらに促進するには、県民、事業所、市町の新エネルギーに対する理解を一層深めていくことが必要です。

<平成 21 年度の取組方向>

産業・業務部門においては、大規模事業所が策定する「地球温暖化対策計画書」に対するフォローアップや中小規模事業所に対する省エネ診断、省エネ相談、環境マネジメントシステム（M-E M S）等の普及などに取り組むとともに、「企業連携による CO₂ 排出量削減取組」を企業間だけでなく、学校、市町とともに取り組み、キッズ I S O の地域版の検討、実践などを通して、家庭等の取組にもつなげていきます。

家庭部門においては、県民自らが主体的にエコ商品やサービスを購入し、あわせて環境保全団体の活動を支援する「みえ・まるごとエコ生活」推進事業を展開するとともに、三重県地球温暖化防止活動推進センターや地球温暖化防止活動推進員と連携し、県民一人ひとりの行動に結びつくような効果的な普及啓発を進めます。

新たな国の住宅用太陽光発電施設補助制度を踏まえ、県民等への情報提供、普及啓発活動の促進、新エネルギーの導入支援に取り組むとともに、市町に新エネルギービジョンの策定を積極的に働きかけます。

<他の主体の参画内容>

- ・県民は、一人ひとりが日常生活における省エネ・省資源に配慮した行動に取り組めます。
- ・事業者は自らの事業活動から排出する温室効果ガスの排出削減対策に取り組むとともに、環境経営を推進し、さらにその取組の拡大に努めます。
- ・N P O 等各種団体は、多様なアイデアのもとに地球温暖化に関する効果的な普及啓発活動を実施します。
- ・市町は、地域住民への地球温暖化対策の普及・啓発活動に取り組むとともに、自らも、温室効果ガスの排出削減対策に取り組めます。

<主な事業>

温暖化防止に向けた事業活動促進事業【基本事業名：41201 地球温暖化防止の推進】

（第 4 款 衛生費 第 6 項 環境保全費 3 環境指導費）

（事業(1)）

予算額：(20) 21,393 千円 (21) 17,592 千円

事業概要：地球温暖化対策計画策定事業所に対し訪問調査を実施し、計画の進捗状況の確認、温暖化対策に関する情報提供・意見交換を行います。また、企業連携による二酸化炭素排出削減取組などを促進し、企業と共に考えながら総量削減対策を進めていきます。中小事業者については、省エネ診断、省エネ相談等を通して省 CO₂ に配慮

した事業活動を促進します。(訪問調査 75 件、省エネ診断等 70 件実施予定)

小規模事業所向け E M S 導入事業【基本事業名：43101 環境経営の促進】(事業(2))

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費)

予算額：(20) 11,320 千円 (21) 9,650 千円

事業概要：県内事業者の9割を占める小規模事業者等にとって、費用負担の少ない三重県版小規模事業所向け E M S (M - E M S) の普及を図り、環境経営を促進します。

(一部新)エコライフ普及啓発推進事業【基本事業名：41201 地球温暖化防止の推進】(事業(3))

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)

予算額：(20) 10,652 千円 (21) 19,574 千円

事業概要：「みえのエコポイント」を見直し、家庭における環境配慮型行動の促進、環境保全活動団体の活動支援及び企業の CSR 活動促進を図るため、多様な主体の参加のもと、「地球環境フォーラム」を、三重県地球温暖化防止活動推進センターを拠点に展開し、「みえ・まるごとエコ生活推進事業」として、CO₂ 排出量の削減を目指す。また、地域の担い手や企業等が連携し、小中学生向けの副読本を作成して地域連携による環境教育に取り組みます。

地球にやさしい新エネルギー導入推進事業【基本事業名：44301 地球にやさしいエネルギー対策の推進】(事業(4))

(第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費)

予算額：(20) 44,483 千円 (21) 9,975 千円

事業概要：市町とともに普及啓発活動に取り組み、市町や事業者等が実施する小規模な新エネルギー設備の導入に対して支援し、新エネルギーの導入を促進します。

